

吉左衛門X 70年世代の今

企 画 展

吉左衛門X 70年世代の今

公益財団法人佐川美術館（所在地：滋賀県守山市）では、特別企画展として「吉左衛門X 70年世代の今」を開催いたします。

第8回目となる吉左衛門Xでは、戦後の混乱と再生を背負って生まれてきた世代、その時代の風を受けながら、現在も制作活動を行っている14名の作家たちの今を展覧いたします。

まさに団塊の世代、彼らが青春を過ごした1960年代末から70年に架かる時代は、高度経済成長により立ち直った戦後日本社会の大きな転換期でした。様々な矛盾を背負い、価値観が怒濤のように変化してゆく時代は、それぞれの若者に深い影響を与えました。時代を画す様々な社会現象を生み出した1970年代。安保闘争、ヴェトナム戦争、学生運動、三島事件、連合赤軍あさま山荘事件、ヒッピー、アレン・ギンズバーグ、ビート・ジェネレーションの詩人たち、ボブ・ディラン、マイルス・デイヴィス、JAZZ喫茶 PIT INN、ゴダール、トリュフォー、アラン・レネ、パゾリーニ、ヌーヴェルヴァーグ、レヴィ＝ストロース、ソジュール、ラカンからフーコー、デリダ、ドゥルーズの構造主義、土方巽の舞踏、唐十郎の状況劇場、寺山修司の天井桟敷、武満徹をはじめとする現代音楽、新しいアメリカ美術、具体からもの派など。これほどの多様な価値観やアイデアが激しくぶつかり合った時代があったのでしょうか。

その時代の多様性を表すように、かつて同じ学舎で彫刻を学んだ作家たちは、様々な道を歩んでいきます。

河原美比古は、九州産業大学教授を務め、木彫を専門に新制作協会に所属。一級建築士事務所 フレンチマン Lentement を主宰し、建築、木工家具デザインなど幅広い活動を行い、今日に至る。

國松明日香は、郷里札幌を基点に、版画制作、金属による抽象彫刻など幅広い創作活動を展開、今日に至る。

久保制一は、テラコッタ・ブロンズ・木などを素材にした作品発表を開始。青山学院女子短期大学教授を務め、新制作協会に所属。第79回新制作展委員長を経て、今日に至る。

熊瀬紀子（旧姓・澤村紀子）は、ガラス工芸、インスタレーション、オブジェなど、主にガラスによる作品を発表。BIWAKOビエンナーレにも毎回参加、幅広い活動を行い、今日に至る。

坂倉新兵衛、本名坂倉正治は、日本工芸会に所属。父14代新兵衛の他界により長門市深川湯本に戻り15代新兵衛を継承し作陶（萩焼）を始め、今日に至る。

土屋豊は、在学中から金属の鍛金作品を発表。工房 たひみ を主宰。金属を主素材として、モニュメント、肖像彫刻、インテリア家具など、幅広い制作活動を行い、今日に至る。

鶴見修作は、東京藝術大学の助手を務め、自然石（ごろいし 吾流石）のかたちから生まれた作品を発表し続け、今日に至る。

登坂秀雄は、静岡大学の教授を務め、二科会に所属。石彫による抽象作品を中心に、野外モニュメント制作、インスタレーションを含め幅広く作品を発表し、今日に至る。

とさかますみ（旧姓・成瀬真澄）は、一陽会に所属。木彫による人物像（子供像）を中心に作品を発表、一方歌人としても活動、絵本なども制作発表し、今日に至る。

日原康は、主に立体作品の発表を続ける傍ら、平面の作品も多く手掛ける。近年は、立体と平面作品の組み合わせにより生まれる新鮮な空間に魅力を感じ、作品制作を続け、今日に至る。

本田悦久は、地元の公立高校で美術教師を勤めた後、青山学院女子短期大学・共立女子大学の非常勤講師を勤める。人体の塑造制作を中心に、新制作協会に所属し作家活動を続け、今日に至る。

前田精史は、様々な媒体によるコンセプチュアルアート、場との関係を主題にしたインスタレーションを中心に、個展およびグループ展などで旺盛に作品を発表し、今日に至る。

吉江庄蔵は、法政大学建築学科兼任講師を務め、土方巽の率いる舞踏にかかわり、プラスチックによる皮膜彫刻を発表、「舞台美術」「展示構成」「プロダクトデザイン」「パブリック彫刻」などの幅広い活動を行い、今日に至る。

樂吉左衛門、旧姓樂光博は、70年に大学を留年、一年遅れて卒業後ローマに留学、西洋体験を踏まえ75年に帰国、作陶を始め、その後父覚入の他界により15代吉左衛門を襲名し、今日に至る。

以上14名の作品を通じ、自立への道、社会と向かい合った個の精神に、時代がどのような痕跡を残したのかをご覧いただければ幸いです。

吉左衛門X 70年世代の今

展覧会実施概要

- 名 称：吉左衛門X 70年世代の今
- 会 期：2017年9月15日[金]—2018年3月11日[日]
- 会 場：佐川美術館 楽吉左衛門館
〒524-0102 滋賀県守山市水保町北川 2891
TEL:077-585-7800 FAX:077-585-7810
- 展示構成：楽吉左衛門ほか13名の作家による立体作品
本展は特別企画展につき楽茶碗の展示はございません
- 開館時間：午前9時30分—午後5時（入館は午後4時30分まで）
※9月15日[金]は開会式のため、楽吉左衛門館の観覧は午前10時30分より
- 休 館 日：月曜日（祝日の場合翌火曜日）
9月25-29日、12月4-8日、12月31日、2018年1月1日、1月9-12日、2月13-16日
- 入 館 料：一般 ¥1,000（¥800）／高大生 ¥600（¥400）／中学生以下無料（ただし保護者の同伴が必要）
（ ）内は20名以上の団体割引料金
※ 専門学校・専修学校は大学に準じる
※ 障害者手帳をお持ちの方（手帳をご提示ください）、付添者（1名のみ）は無料
- 主 催：公益財団法人佐川美術館
- 後 援：滋賀県、滋賀県教育委員会、守山市、守山市教育委員会
- 協 力：SG ホールディングス株式会社、佐川急便株式会社、佐川印刷株式会社
- 併設展示：アルフォンス・ミュシャ展 華麗なるアール・ヌーヴォー 7月15日[土]—9月24日[日]
百花繚乱 浮世絵十人絵師展 9月30日[土]—11月26日[日]

吉左衛門X 70年世代の今

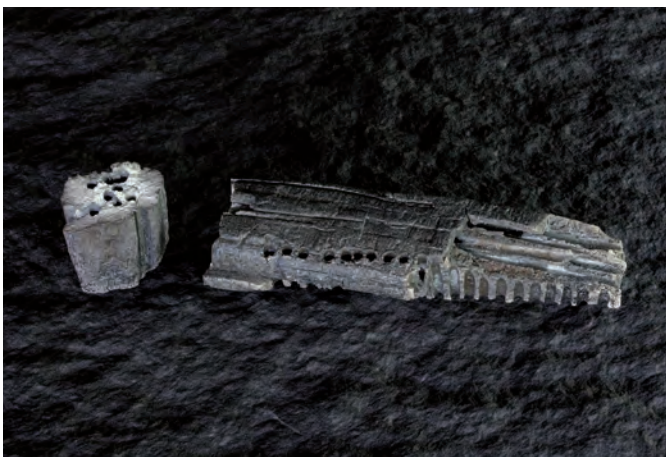
主な出品作品



① 抑止力 V / 樂吉左衛門 2017年



② 抑止力 VI / 樂吉左衛門 2017年



③ 抑止力 VII / 樂吉左衛門 2017年



④ 左 = Sea Breeze #1 / 國松明日香 2016年
中 = 円相 - I / 登坂秀雄 2017年
右 = 水景 - SAGAWA - / 前田精史 2017年

吉左衛門X 70年世代の今

広報用写真について

主な出品作品中の画像をご使用ください。ご希望の方はお手数ではございますが、下記担当者アドレスもしくは、同封の作品画像および読者プレゼント用招待券申込書に必要事項をご記入の上、当館までファックスでお申込ください。

なお、作品画像につきましては、著作権の関係上、当該展覧会以外でのご使用はお断りしておりますので、宜しくお願い申し上げます。※そのほか貸出希望の作品がございましたら、担当者までお問合せください。

読者プレゼント用招待券について

読者・視聴者・リスナーへのプレゼント目的にかぎり、本展覧会会期中有効のご招待券を10枚までご提供させていただきます。

ご希望の方はお手数ではございますが、同封の作品画像および読者プレゼント用招待券申込書に必要事項をご記入の上、当館までファックスでお申込ください。

■ 交通のご案内：

お車ご利用の場合

駐車場有70台、美術館入館者は無料

- ・名神高速瀬田西 IC から湖周道路経由約30分
- ・名神高速栗東 IC から守山栗東線経由約30分
- ・名神京都東 IC から湖西道路（真野 IC）・琵琶湖大橋経由約30分

鉄道ご利用の場合

- ・JR 琵琶湖線守山駅から路線バス 佐川美術館下車（約35分）
- ・JR 湖西線堅田駅から路線バス 佐川美術館下車（約15分）

[連絡先]

公益財団法人佐川美術館

〒524-0102 滋賀県守山市水保町北川2891

TEL：077-585-7800 / FAX：077-585-7810

企画担当：松山^{まつやま}早^{さき}紀^こ子

s_matsuyama002@sagawa-artmuseum.or.jp

吉左衛門X 70年時代の今

作品画像 および 読者プレゼント用招待券申込書

佐川美術館 宛 FAX / 077-585-7810

申込日 年 月 日

作品写真の露出・掲載等 ご使用にあたっての注意	<p>■ 申請された方法、目的以外には使用しないでください</p> <p>■ 掲載誌・紙は資料として1部以上お送りくださいますよう、お願い致します</p> <p>■ その他の画像が必要な場合は、企画担当者までご連絡ください</p>
ご使用作品(○印)	<p>① 抑止力 V / 楽吉左衛門 2017年</p> <p>② 抑止力 VI / 楽吉左衛門 2017年</p> <p>③ 抑止力 VII / 楽吉左衛門 2017年</p> <p>④ 左 = Sea Breeze #1 / 國松明日香 2016年</p> <p>中 = 円相 - I / 登坂秀雄 2017年</p> <p>右 = 水景 - SAGAWA - / 前田精史 2017年</p>
媒体名	
貴社名	
ご芳名(ご所属)	
ご連絡先	<p>ご住所 〒</p> <p>e-mail:</p> <p>TEL: FAX:</p>
発行予定日	年 月 日 号
使用形態(○印)	Web / 印刷物(カラー/モノクロ)
招待券希望枚数	<p>読者プレゼントとして、招待券 _____ 枚</p> <p>※ 枚数は10枚以内でお願いいたします。</p>

吉左衛門X 70年世代の今

吉左衛門X 70年世代の今
— 開会式・報道内覧会のご案内 —
9月15日〔金〕10:00—
会場：佐川美術館 楽吉左衛門館

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は当館の活動に格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。
さて、公益財団法人 佐川美術館（所在地：滋賀県守山市）では、特別企画展として
「吉左衛門X 70年世代の今」を開催いたします。
つきましては開会式の後、報道内覧会を行います。
ご多用の折誠に恐縮ではございますが、何卒ご来館賜りますようご案内申し上げます。

敬具

- ・日 時：2017年9月15日〔金〕
- ・受 付：9:30—
- ・開 会 式：10:00— 楽吉左衛門館ロビー
11:00— 楽吉左衛門館ロビー
出展作家による展覧会概要説明
※展覧会概要説明後、取材対応させていただきます

※ 当日に限り、お帰りの際に展覧会図録1冊を贈呈いたします。

※ ご出席の方は別紙参加申込ファックスを9月13日〔水〕までにご返送くださいますよう、お願い申し上げます。

[連絡先]

公益財団法人佐川美術館

〒524-0102 滋賀県守山市水保町北川2891

TEL: 077-585-7800 / FAX: 077-585-7810

担当：松山早紀子

s_matsuyama002@sagawa-artmuseum.or.jp

吉左衛門X 70年世代の今

9月15日[金] 開会式・報道内覧会ファックス返信票

佐川美術館 宛 FAX / 077-585-7810

開会式・報道内覧会に出席します

貴社名

ご所属

ご住所 〒

ご連絡先 (TEL)

(FAX)

ご芳名

(他 名)
